



Libero Canto

第 8 回

声楽名曲コンサート

Libero Canto の会

2018. 9/24 (月・祝) 13:30

横浜・戸塚 さくらプラザホール



ご挨拶

本日は皆さまご多用のところ、私たちのコンサートにご来聴下さいまして、まことに有難うございます。皆さまの御支援によってこのコンサートは会を重ねて第八回となりました。心より厚く御礼申し上げます。

出演の皆さんの多くは学校の音楽教員として、あるいは企業に勤務されています。忙しい中であっても声楽の魅力に惹かれて、たゆまない研鑽を積んで来ております。また私の古くからの生徒さんである澤木さんはイタリアにおいてヴェルディ国際声楽コンクールで入賞を果たし、現在東京にてリリカイタリアーナのプリマとして数多くのオペラで役を歌っています。

さて私は皆さんを指導している立場ですが「生涯一書生」をモットーとしていますので、今回も一緒に出演できますことを大変有り難く思っています。

皆さま忌憚のないご高評と暖かいご声援をよろしくお願いいたします。

どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみ下さい。

Libero Canto Japan 長谷川 敏

(東京藝術大学、お茶の水女子大学、洗足学園音楽大学講師、茨城大学教授を歴任。二期会会員)



Libero Canto について

20世紀半ば、ウィーンのラヨシュ・サモシ教授によって開発された歌唱法、教授法のこと「自由なる歌唱」という意味です。この歌唱法はイタリア・ローマにて「我々が既に忘れてしまった正当的ベルカント唱法である」と評価されました。3年前に逝去されたエドウィン・サモシ教授がこれを継承してウィーン、ニューヨークを中心に活動し発展させていました。Libero Canto Japanの長谷川は1973年より両教授の薫陶を受け、日本人ではただ一人の認定された後継者としてこの歌唱法の伝播と発展に努めています。

Libero Cantoでは先ず各人の持つ歌唱時の悪い癖を取り除きます。そしてごく自然に楽な息のエネルギーを流して歌っていきます。クラシックの声楽にありがちな、構える、支える、保持する、気張る、響きや声を狙うといったことをやりません。力づくでなく、軽く明るい喉のトレーニングをして、身体本来のもつ自由な働きを引き出します。そうしてその人の本当の声のクオリティーと音楽とを正しく出していくものです。この方法は自然であるがために、自分のものにするにはかなりの忍耐の期間が必要ですが、熟達すれば優美で暖かく、音楽性に満ちた歌唱芸術が実現します。

Libero Canto Japan事務局

E-Mail b.i.z.en66@gmail.com

Tel 0466・29・1371